

2024年度 電線需要見通し改訂概要

2024年9月
調査統計専門委員会

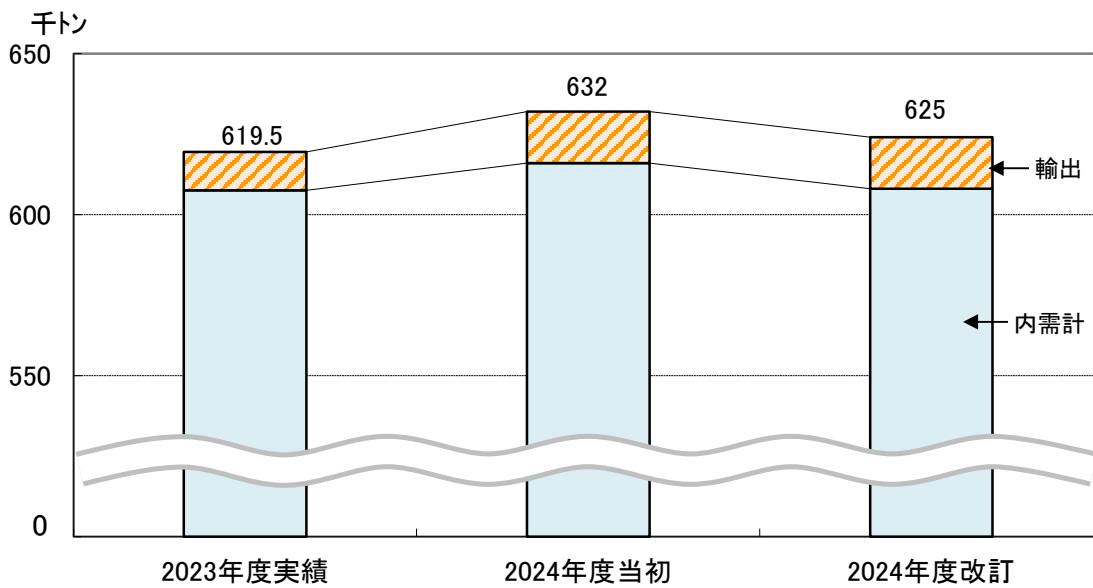
1. 2024年度需要見通しの前提

2024年度日本経済の見通し(前年度比%)

	当初	改訂
実質GDP成長率	+0.7%	+0.6%
民間最終消費支出	+0.7%	+1.0%
民間企業設備投資	+1.8%	+2.5%
民間住宅投資	-0.7%	-1.4%
鉱工業生産指数	+1.7%	+1.0%

※民間シンクタンク13機関平均

2. 2024年度電線需要改訂予測結果



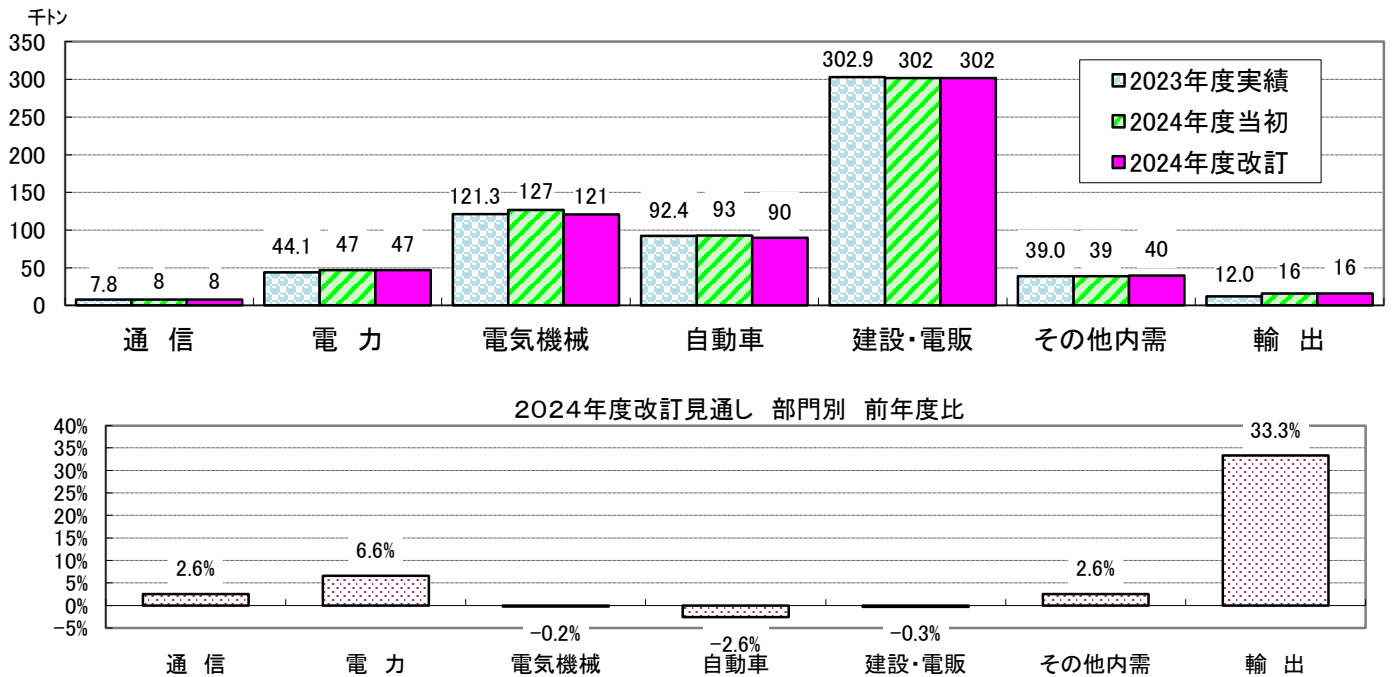
単位:千トン

銅 電 線	2023年度実績	2024年度当初	2024年度改訂	前年度比
内 需	607.5	616	608	0.1%
輸 出	12.0	16	16	33.3%
合 計	619.5	632	625	0.9%

単位:千トン

アルミ電線	2023年度実績	2024年度当初	2024年度改訂	前年度比
合 計	26.6	27	28	5.3%

3. 2024年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	通信インフラ環境の光化進展により、大手通信事業者向けメタルケーブル需要は現状維持とし、当初見通し据え置き、2023年度比+2.6%と予測。
電力	施工人員不足により大幅な需要増は期待できないが、設備更新・再生可能エネルギー関連の需要により、当初据え置き、2023年度比+6.6%と予測。
電気機械	電子・通信部門はFAロボット、医療、DX関連向けが振るわず、電装品部門も需要減により、当初比減、2023年度比-0.2%と予測。
重電	変圧器向けの需要増は見込めるものの、発電機・モーター用途は減少し、当初比減、2023年度比+0.0%と予測。
家電	個人消費に力が無く、当初比減、2023年度比-10.0%と予測。
電子・通信	半導体製造装置市場など一部分野で需要の回復がみられるものの、FAロボット、医療、DX関連向けが振るわず、当初比減、2023年度比-1.8%と予測。
電装品	国内自動車生産台数の減産に伴い需要が減少、当初比減ながら2023年度比+0.4%と予測。
自動車	半導体不足は解消されたものの、認証不正問題に伴う出荷停止で自動車生産台数減、また、銅需要を期待できるBEV車市場は他国と比べても依然として小規模であることから、電線需要は大きくは期待できず、当初比減、2023年度比-2.6%と予測。
建設・電販	半導体工場や、都市再開発、データセンター、物流倉庫など、大型案件の需要はあるものの、労働人口の減少、2024年問題、資材高騰等による、中小工事案件の遅れや住宅着工件数の減少も懸念され、当初据え置き、2023年度比-0.3%と予測。
その他内需	民間設備投資の回復が期待され、当初比増、2023年度比+2.6%と予測。
輸出	伸長する電力需要、脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー関連設備、電力安定供給を踏まえた連系線整備等の投資により、当初据え置き、2023年度比+33.3%と予測。

以上

表1

2024年度電線需要見通し改訂 (総括表)

2024年9月

単位:千トン

区分		出荷			
		銅電線		アルミ電線	
年度		実績及び見通し	前年度比	実績及び見通し	前年度比
2017	(実績)	686.9	1.0%	28.5	0.5%
2018	(実績)	697.8	1.6%	29.9	5.0%
2019	(実績)	694.2	-0.5%	31.0	3.6%
2020	(実績)	622.6	-10.3%	31.9	2.8%
2021	(実績)	630.4	1.2%	26.4	-17.0%
2022	(実績)	619.6	-1.7%	22.3	-15.5%
2023 実績	上期	301.2	(-1.5%)	13.5	(30.1%)
	下期	318.3	(1.4%)	13.2	(9.8%)
	計	619.5	0.0%	26.6	19.2%
2024 当初 見通し	上期	309	(2.6%)	14	(4.1%)
	下期	323	(1.5%)	13	(-1.4%)
	計	632	2.0%	27	1.4%
2024 改訂 見通し	上期	304	(0.9%)	11	(-18.2%)
	下期	321	(0.8%)	16	(21.4%)
	計	625	0.9%	28	5.3%

(注)1. ()内は前年同期比を示す。

[KN240911]

2. 四捨五入のため計や比率が合わない場合もある。

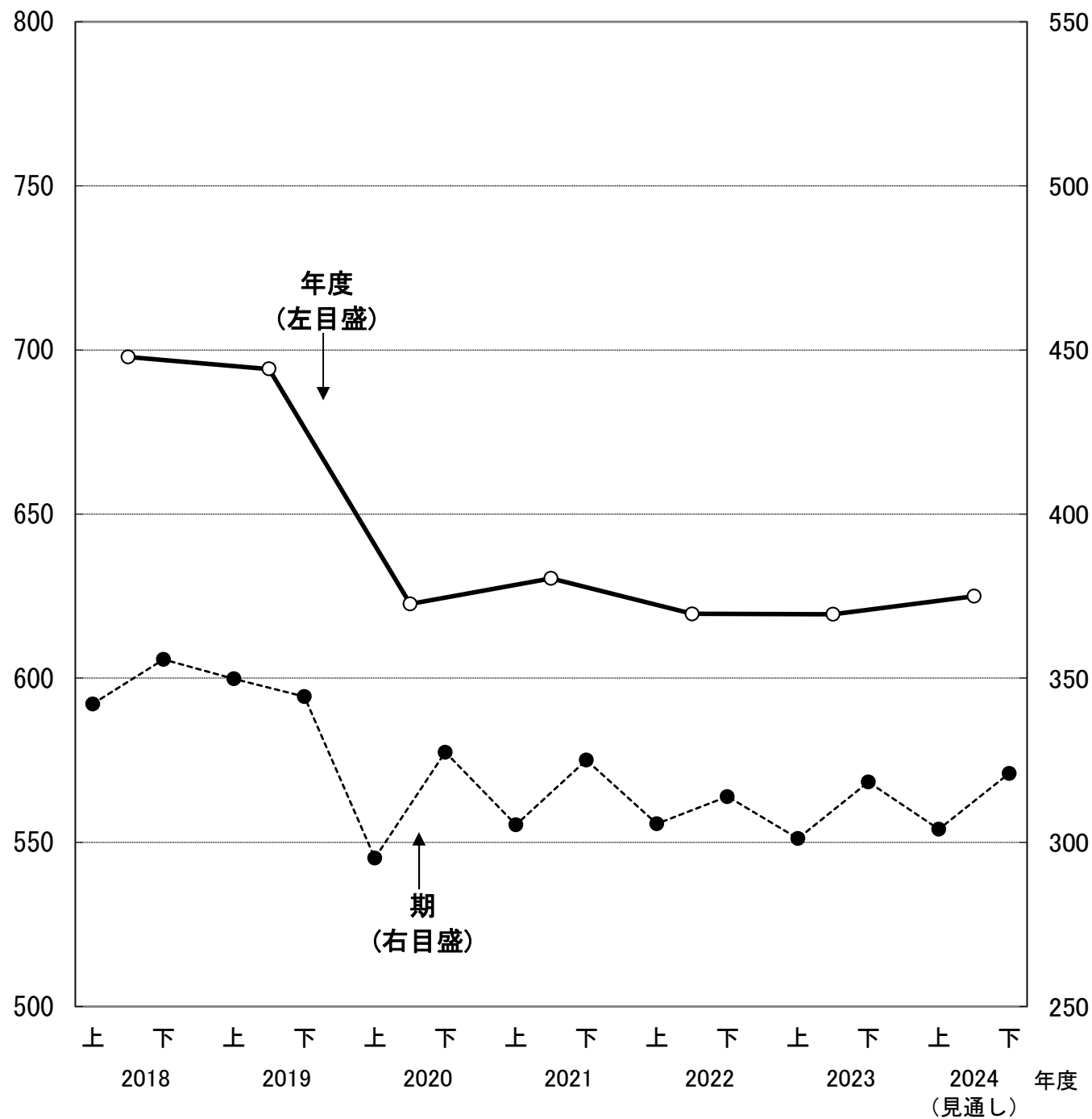
3. 当初…2024年3月、改訂…2024年9月策定のもの。

2024年9月

出荷推移表 (銅電線)

年度
千トン

上下期
千トン



2024年度電線需要見通し改訂
(主要部門別)

2024年 9月

単位:千トン

年度 期 部 門	出 荷							
	2023 (実績)	2024 (見 通 し)						
		当 初			改 訂			
		上期	下期	計	上期	下期	計	24/23(%)
通 信	7.8	4	4	8	4	4	8	2.6
電 力	(17.1)	(9)	(8)	(17)	(7)	(10)	(17)	(-0.6)
電気機械	121.3	63	64	127	58	63	121	-0.2
重電	17.0	/	/	18	/	/	17	0.0
家電	10.0	/	/	10	/	/	9	-10.0
電子・通信	22.4	/	/	25	/	/	22	-1.8
電装品	52.8	/	/	54	/	/	53	0.4
その他	19.0	/	/	20	/	/	20	5.3
自 動 車	92.4	46	48	93	44	46	90	-2.6
建設・電販	302.9	147	155	302	146	156	302	-0.3
その他内需	(7.6)	(4)	(4)	(8)	(3)	(5)	(8)	(5.3)
	39.0	19	20	39	21	19	40	2.6
内 需 計	(24.7)	(13)	(12)	(25)	(11)	(15)	(26)	(5.3)
	607.5	302	315	616	295	313	608	0.1
輸 出	(2.0)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(0.0)
	12.0	7	8	16	8	8	16	33.3
合 計	(26.6)	(14)	(13)	(27)	(11)	(16)	(28)	(5.3)
	619.5	309	323	632	304	321	625	0.9

(注)1. ()内はアルミ電線を示し外数。

[KN240911]

2. 四捨五入のため、計や比率が合わない場合もある。

3. 当初…2024年3月、改訂…2024年9月策定のもの。

2028年度 中期電線需要見通し概要

2024年9月
調査統計専門委員会

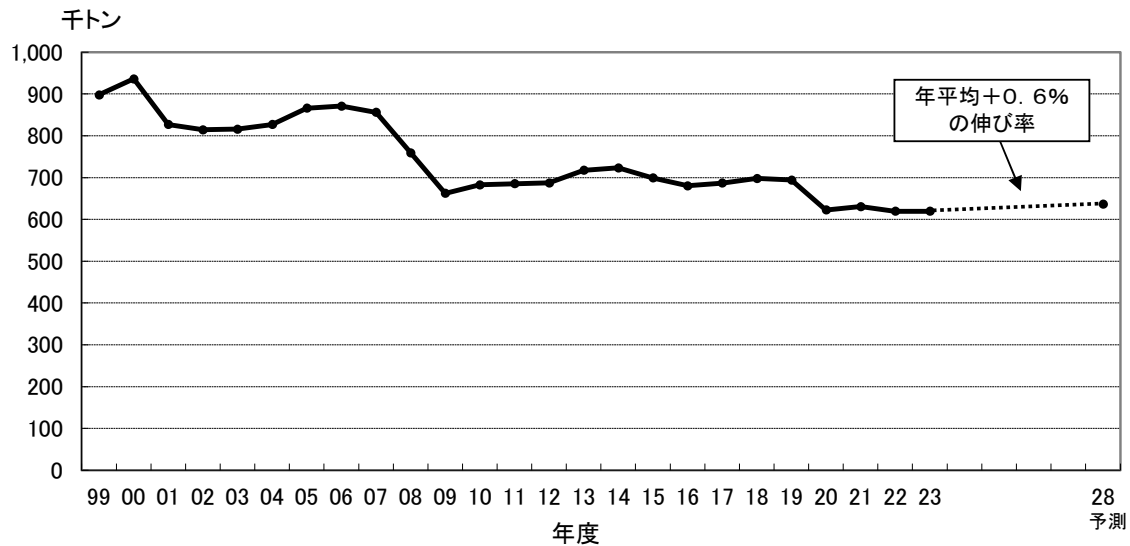
1. 2028年度中期需要見通しの前提

2023～2028年度日本経済の見通し(年平均伸び率%)

実質GDP成長率	+1.0%
民間最終消費支出	+1.0%
民間企業設備投資	+2.0%
民間住宅投資	-1.1%
鉱工業生産指数	+1.2%

※民間シンクタンク3機関平均

2. 2028年度中期電線需要予測結果



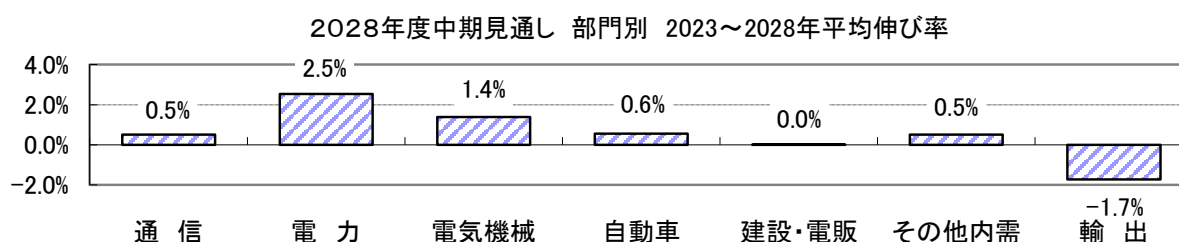
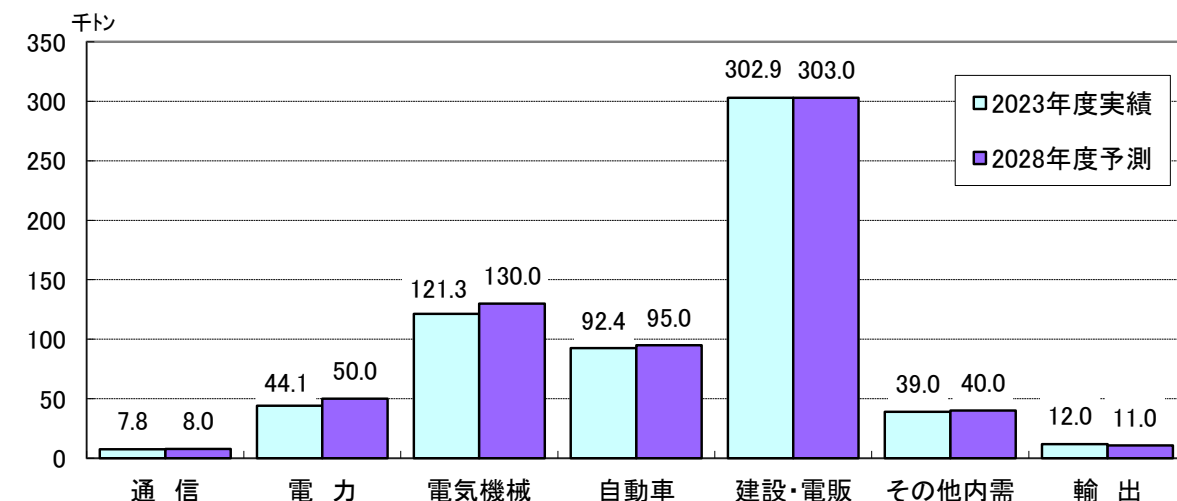
単位:千トン

銅 電 線	2023年度実績	2028年度予測	23～28年平均伸び率
内 需	607.5	626	0.6%
輸 出	12.0	11	-1.7%
合 計	619.5	637	0.6%

単位:千トン

アルミ電線	2023年度実績	2028年度予測	23～28年平均伸び率
合 計	26.6	30	2.4%

3. 2028年度各需要部門別出荷見通し



部門	コメント
通信	データセンター需要はあるものの、通信インフラ環境のメタルから光へのシフトは継続し、銅線需要は期待できないと見て、2023年度～2028年度までの平均伸び率+0.5%と予測。
電力	経年品の更新や再生可能エネルギー関連、地域間連系線増強、AI普及をにらんだ電力インフラ整備需要が期待され、同+2.5%と予測。
電気機械	電装品、電子・通信部門の需要増が期待でき、同+1.4%と予測。
重電	設備更新、再生可能エネルギー関連、AI普及による電力需要増に伴い、変圧器等の電力ネットワーク機器関連需要が期待され、同+2.2%と予測。
家電	人口減により消費の拡大は見込めず、同+0.0%と予測。
電子・通信	電子機器の小型化など銅電線の使用量は減少も予測されるが、AI、ロボット、医療関連向けの需要は増えるともみて、同+2.2%と予測。
電装品	CASEの進展による緩やかな需要増は長期的に継続するとみて、同+1.2%と予測。
自動車	人口の減少や、日本製BEV車の競争力低下による国内自動車総生産台数伸び悩みの懸念があるが、国内メーカーのBEV車の比率は増加傾向にあることから、電線需要は同+0.6%と予測。
建設・電販	都市再開発、データセンター、物流倉庫、再生可能エネルギー関連など大規模工事による需要は継続するものの、人口減少による住宅着工減や、人手不足により施工能力が追い付かず、同+0.0%と予測。
その他内需	民間設備投資需要に期待し、同+0.5%と予測。
輸出	脱炭素化社会に向け世界的需要は増加傾向と見る一方、為替変動リスク回避、貿易摩擦問題解消等から、現地生産化が一層進展すると想定され同-1.7%と予測。

以上

表1

中期電線需要見通し (出荷ベース)

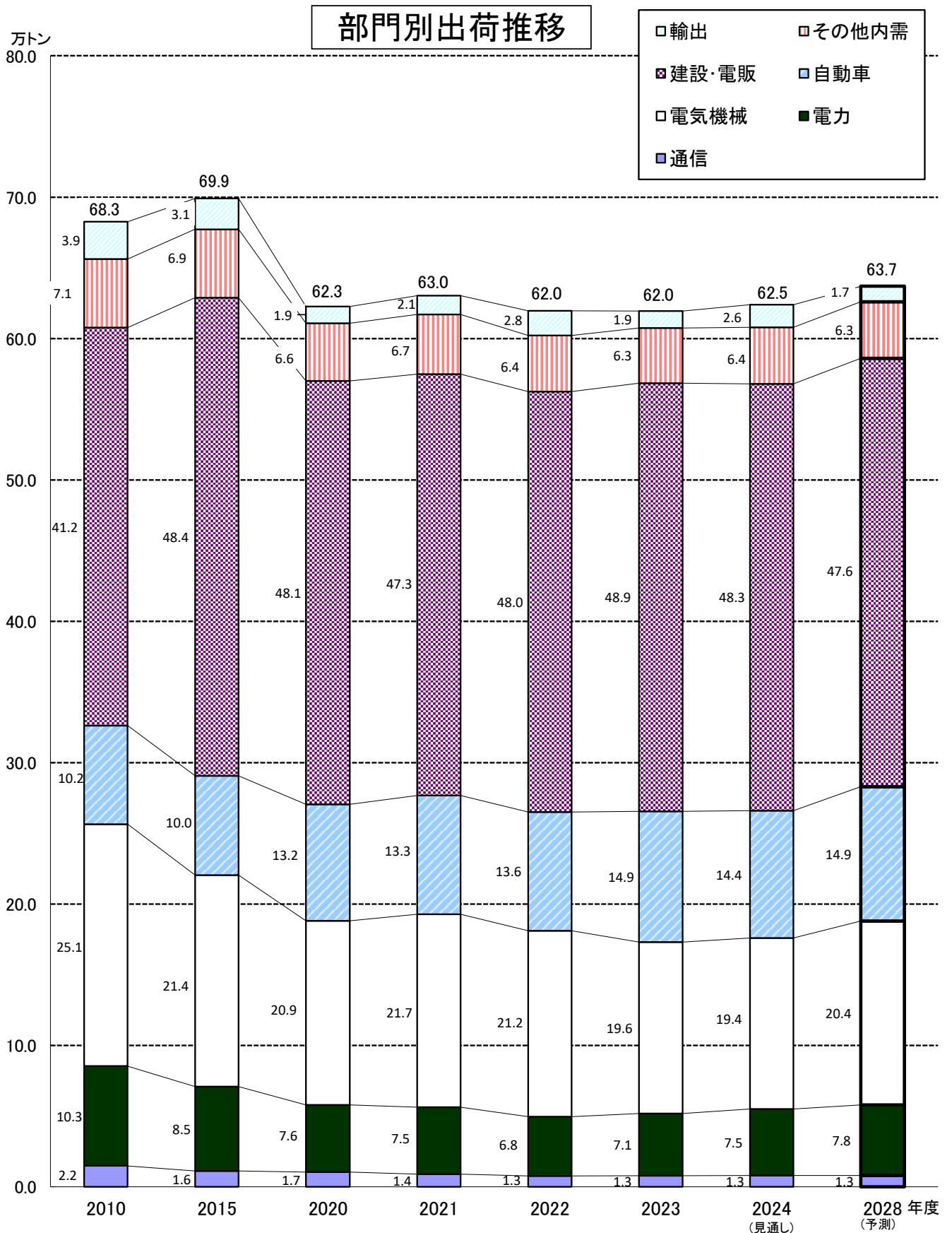
2024年9月
単位:千トン

部門	年度	2022		2023		2024		2028		28/23	28/24
		実績	実績	構成比 (%)	見通し 改訂	構成比 (%)	予測	構成比 (%)	年平均 伸び率(%)	年平均 伸び率(%)	
通 信		7.7	7.8	1.3	8	1.3	8	1.3	0.5	0.0	
		(15.4)	(17.1)	(64.3)	(17)	(60.7)	(19)	(63.3)	(2.1)	(2.8)	
電 力		41.9	44.1	7.1	47	7.5	50	7.8	2.5	1.6	
電 気 機 械		131.5	121.3	19.6	121	19.4	130	20.4	1.4	1.8	
	重 電	19.4	17.0		17		19		2.2	2.8	
	家 電	11.1	10.0		9		10		0.0	2.7	
	電子・通信	27.1	22.4		22		25		2.2	3.2	
	電 装 品	51.5	52.8		53		56		1.2	1.4	
	そ の 他	22.4	19.0		20		20		1.0	0.0	
自 動 車		84.1	92.4	14.9	90	14.4	95	14.9	0.6	1.4	
建 設 ・ 電 販		297.4	302.9	48.9	302	48.3	303	47.6	0.0	0.1	
		(6.3)	(7.6)	(28.6)	(8)	(28.6)	(9)	(30.0)	(3.4)	(3.0)	
そ の 他 内 需		39.7	39.0	6.3	40	6.4	40	6.3	0.5	0.0	
		(21.8)	(24.7)	(92.9)	(26)	(92.9)	(28)	(93.3)	(2.5)	(1.9)	
内 需 計		602.2	607.5	98.1	608	97.3	626	98.3	0.6	0.7	
		(0.6)	(2.0)	(7.5)	(2)	(7.1)	(2)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	
輸 出		17.4	12.0	1.9	16	2.6	11	1.7	-1.7	-8.9	
		(22.3)	(26.6)	(100.0)	(28)	(100.0)	(30)	(100.0)	(2.4)	(1.7)	
合 計		619.6	619.5	100.0	625	100.0	637	100.0	0.6	0.5	

[KN240911]

- (注) 1. ()内はアルミ電線を示し外数。
2. 四捨五入のため、計や比が合わない場合がある。

図1



(左側の数字は内外需計を100とした構成比%)

[KN240911]